医科点数表の解釈 平成30年4月版

Web追補 No.14 (令和元年7月号)

令和元年7月11日作成

- 以下の告示・通知により、本書の内容に変更が生じましたので、ここに追補します。
 - 令和元年6月28日 保医発0628第1号(令和元年7月1日適用)
 - 令和元年6月28日 保医発0628第4号(令和元年7月1日適用)
 - 令和元年7月2日 厚生労働省告示第57号(令和元年7月3日適用)
 - 令和元年7月9日 医療課事務連絡
- Web追補のバックナンバーは、当社ウェブサイト上の『<mark>診療報酬関連情報ナビ</mark>』からご覧いただけます。 本追補と併せてご利用ください。(http://www.shaho.co.jp/shaho/2018_sinryo/index.html)

頁	欄 行		変更後			
511	Web追補No. 7にて	FLT3遺伝子の縦列重複(ITD)変異	FLT3遺伝子の縦列重複(ITD)変異及び			
	追加済みの「◇	又はチロシンキナーゼ(TKD)変異	チロシンキナーゼ(TKD)変異			
	FLT3遺伝子					
	検査」の「イ」中					
518	•	を用いた25-ヒドロキシビタミンD	◇ 原発性骨粗鬆症の患者に対して、ECLI			
		∆法を用いた25-ヒドロキシビタミンDは,	A法, CLIA法又はCLEIA法により			
		学検査の「30」KL-6の所定点数に準じて算	25-ヒドロキシビタミンDを測定した場合			
	定する。	店が仲型和影片の中本に対して FCII	は,骨粗鬆症の薬剤治療方針の選択時に1回 に限り, D007 血液化学検査の「30」心筋ト			
		原発性骨粗鬆症の患者に対して、ECLI	に限り、 D007 血液化学検査の「30」心筋ト ロポニン I 、KL-6の所定点数を準用して算定			
	A法により測定した場合に のみ算定できる。ただし, ロポニン I, KL-6の所定点数を準用して 骨粗鬆症の薬剤治療方針の選択時に 1 回に限り算定す する。なお,本検査を実施する場合は関					
	る。	別日原力可の選択所に1回に成り昇足り	会が定める実施方針を遵守する。			
		う場合には、関連学会が定める実施方針を	(平30. 8.31 保医発 0831 1)			
	遵守する。		(令元. 6.28 保医発 0628 1)			
	, , , ,	(平30. 8.31 保医発 0831 1)	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			
	〔上記は0007血	夜化学検査の「30」KL-6の所定点数(117点)				
	を準用する項目	としてWeb追補No.4にて追加済み]				
1307	― 上から4行目	(最終改正;平31. 2.28 保医発 0228 1)	(最終改正;令元. 6.28 保医発 0628 4)			
1017	± 1 / 2 15/5 D	[黄色網かけはWeb追補No. 10等にて改正済み]				
1317	左 上から15行目	[次行に次のように追加] (2) 白字校業まな、(※美陸字刑ませんを応	7 (4 位 A 如 利 主 中 4 位 后 2 分 1 (
	(3) 自家培養表皮(栄養障害型表皮水疱症又は接合部型表皮水疱症に対し使用する場合)					
		ア 調整・移植キットについては、栄養障害型表皮水疱症又は接合部型表皮水疱症であって、4週間以上持続しているびらん・潰瘍又は潰瘍化と再上皮化を繰り返すびらん・				
		清瘍に対して、上皮化させることを目的として使用した場合に、一連の治療計画につ				
		き同一箇所に対する移植は3回を限度とし、合計50枚を限度として算定する。なお、				
		同一箇所に対して2回以上移植した場合は、その医学的理由と移植箇所、移植回数を				
		診療録及び診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。				
		イ 採取・培養キットについては、一連の治療計画の初回治療月に1回に限り算定でき				
		る。				
		ウ ヒト自家移植組織(自家培養表皮)を栄養障害型表皮水疱症又は接合部型表皮水疱				
		症の治療を目的として使用した場合は、診療報酬請求に当たって、診療報酬明細書に				
		症状詳記を添付する。また、複数回に分けて治療することが予定されている場合は、				
		一連の治療計画の内容として以下の事				
		a 治療開始年月及び治療終了予定年 h 治療関原及び同数	Д			
1217	左 上から16行目	b 治療間隔及び回数 (2)	(4)			
1396		(3) (最終改正;令和元年5月21日 厚生労働	(最終改正;令和元年7月2日 厚生労働省告			
1390	— TW. 0 0 11 H	省告示第7号)	(取於以正;中和九年 7 月 2 日 厚生力側有百 示第57号)			
			(4.201.0)			
		〔 <mark>黄色網かけ</mark> はWeb追補No.13等にて改正済み〕				
		L <mark>東巴網かけ</mark> はWeb追補No.13等にて改正済み」				

頁	欄	行	変更前	変更後
1400	—	上から20行目	<mark>,</mark> スージャヌ配合錠 <mark>,オデフシィ配合錠,</mark>	,スージャヌ配合錠,オデフシィ配合錠,ジェ
			ジェミーナ配合錠(1回の投薬量が30日分	ミーナ配合錠(1回の投薬量が30日分以内であ
			以内である場合に限る。),トラディアン	る場合に限る。),トラディアンス配合錠AP,
			ス配合錠AP,トラディアンス配合錠B	トラディアンス配合錠BP,メトアナ配合錠H
			P,メトアナ配合錠HD,メトアナ配合錠	D,メトアナ配合錠LD,ジャルカ配合錠,ビ
			LD, ジャルカ配合錠, ビクタルビ配合錠,	クタルビ配合錠,ロスーゼット配合錠HD,ロ
			ロスーゼット配合錠HD, ロスーゼット配	スーゼット配合錠LD,テリルジー100エリプ
			合錠LD,テリルジー100エリプタ14吸入	タ14吸入用,テリルジー100エリプタ30吸入用
			用及びテリルジー100エリプタ30吸入用	及びシムツーザ配合錠
			〔 <mark>黄色網かけ</mark> はWeb追補No.13等にて改正済み〕	

医科点数表の解釈

『医科点数表の解釈』編集部

@ika_kaishaku

https://twitter.com/ika_kaishaku

Twitter では医療図書のご案内や追補などの情報提供,その他審議会などの情報をお知らせします。どうぞご利用ください。

